

おわりに

今後の公共施設等マネジメントの取組みについて

今回、本計画の策定を通じて、公共施設最適化計画に基づくハコモノ最適化の進捗状況を整理するとともに、新たにインフラの最適化に向けた基本的な方向性である「インフラ3R」の考え方を提示しました。本計画策定後には、総人口の減少や厳しい財政状況という社会経済情勢の変化がもたらすハコモノやインフラの維持管理、更新における課題解決に向け、以下の取組みを行っていきます。

ハコモノについては、公共施設最適化計画に基づく2019（平成31）年度までの取組み期間（第Ⅰ期）の個別計画（アクションプラン）^{※35}を策定し、複合化や統廃合、譲渡などの取組みによる総量の縮減や、運営形態の適正化などを進めています。今後は、将来にわたって必要な機能を維持していくため、本市のみならず、周辺自治体や国、県、民間事業者との連携など、さらなる創意工夫を図っていきます。

インフラについては、市民生活に欠かすことのできないサービスを提供していることから、安心安全に利用していくために計画的な維持管理、更新を将来にわたって持続していくとともに、新たなニーズに応じた整備が必要となります。インフラに関する取組みは今後本格化することとなりますが、的確な現状把握と優先度に基づく計画的な更新を実施していきます。これによって、これまで以上に効率的、効果的に維持管理を行っていくとともに、将来の需要予測に基づく規模の適正化やダウンサイジングなどの新たな取組みについても検討していきます。

本市では、ハコモノやインフラを新たに整備していくという発想から、現在保有している資産を最大限有効活用していくという考え方へと発想を転換し、伊賀市民の財産であるハコモノやインフラを将来の伊賀市民へ持続可能な形で継承していくため、勇気と覚悟をもって市民のみなさんとともに取り組んでいきます。

※35 ハコモノの具体的な取組みスケジュール（ロードマップ）については、公共施設最適化計画2ページに掲載しています。